



ぴよきちパパのエコチル講座

第8回

みなさんが協力してくれているエコチル調査でわかったことを紹介していきます!

今回のテーマは **喫煙と生まれた子どもの体格** についてです



たばこを吸うことは体に良くない?

たばこの煙には、がんを起す物質や、血液の流れを悪くする物質など、体に良くない物質が200種類以上も入っているよ。
たばこを吸うと、吸っている本人だけでなく、まわりの人も煙を吸い込んでしまうんだ。



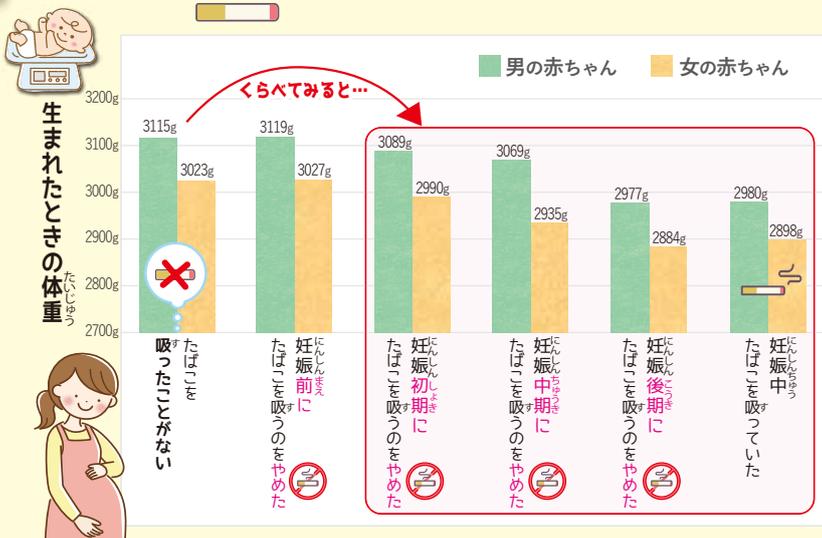
妊婦がたばこを吸うとお腹の中の赤ちゃんは大きくなりにくい?

赤ちゃんはおよそ40週間(10か月)お母さんのお腹の中で育ってから生まれるんだ。

エコチル調査では、妊娠してから赤ちゃんを産むまでたばこを吸っていた妊婦や、妊娠中にたばこをやめた妊婦と、たばこを吸ったことのない妊婦で、生まれた子どもの体の大きさに違いがあるか調べたよ。

そしてわかったこと

妊娠中たばこをやめた時期と生まれた子どもの体重の関係



妊娠中にたばこを吸っていた妊婦から生まれた子どもは、たばこを吸っていない妊婦から生まれた子どもよりも、生まれたときの体重が少なかったよ。
妊娠している間にたばこをやめても、やめる時期が遅いほど、生まれた子どもの体重は少なくなっていたんだ。

また、体重だけでなく、身長、頭の大きさも小さくなっていたよ。

妊婦がたばこを吸っていると赤ちゃんが大きくなりにくいのはなぜ?

たばこを吸うと血液の流れが悪くなるので、赤ちゃんに必要な酸素や栄養が十分に赤ちゃんに届きにくくなり、赤ちゃんの成長を妨げると言われているよ。



たばこを吸い始めると、やめようとしても、やめるのが難しくなってしまうんだ。
若い時から、たばこを吸わないようにすることが大切だね。



この研究結果は次の論文から引用しました。

題名: Timing of Maternal Smoking Cessation and Newborn Weight, Height, and Head Circumference

著者: 龍田希 (東北大学) ほか

雑誌名: Obstetrics and gynecology (2023年)

論文の概要: <https://www.env.go.jp/content/000125564.pdf>